

REDEEMとは

REDEEMとは、本プロジェクトのタイトル「医療工学技術者創成のための再教育システム」を英語で表現した "Recurrent Education for Development of Engineering Enhanced Medicine" の頭文字をとったものです。また、redeemという英単語は、「(人々を)救済する」という意味をもったラテン語に由来します。このプロジェクトを通じて、従来からの技術者に新たな医療工学分野の再教育の機会を提供し、社会に貢献していくという思いがこめられています。



医療・医療産業発展を担う
指導的人材の輩出をめざして

REDEEM委員会

| | | |
|-------|-------------|----|
| 山口 隆美 | 東北大学工学研究科 | 教授 |
| 和田 仁 | 東北大学工学研究科 | 教授 |
| 山田 章吾 | 東北大学医学系研究科 | 教授 |
| 大内 憲明 | 東北大学医学系研究科 | 教授 |
| 大隅 典子 | 東北大学医学系研究科 | 教授 |
| 川添 良幸 | 東北大学金属材料研究所 | 教授 |
| 早瀬 敏幸 | 東北大学流体科学研究所 | 教授 |
| 福田 寛 | 東北大学加齢医学研究所 | 教授 |
| 和田 成生 | 大阪大学基礎工学研究科 | 教授 |
| 大島 まり | 東京大学生産技術研究所 | 教授 |

専任教員

| | | |
|-------|-----------|------------|
| 武田 元博 | 東北大学工学研究科 | 主席研究員(助教授) |
| 沼山 恵子 | 東北大学工学研究科 | 研究員(助手) |



REDEEM

Recurrent Education for the Development of
Engineering Enhanced Medicine

Tohoku University

文部科学省 科学技術振興調整費

「医療工学技術者創成のための 再教育システム」

東北大学REDEEMプロジェクト



REDEEM

Recurrent Education for the Development of
Engineering Enhanced Medicine

Tohoku University

文部科学省 科学技術振興調整費

「医療工学技術者創成のための再教育システム」

東北大学REDEEMプロジェクト

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-01 東北大学工学研究科機械系内

TEL: 022-795-5030 FAX: 022-795-5031

E-mail: secretary@redeem.tohoku.ac.jp

<http://www.redeem.jp/>



■ ごあいさつ ■



プロジェクト代表者
東北大学大学院工学研究科 教授
山口 隆美

「医療工学技術者創成のための再教育システム」(REDEEM)は、文部科学省科学技術振興調整費により、平成16年度から5ヵ年計画で実施されるプロジェクトです。我が国の新興分野人材養成を目指して、社会人を対象とした再教育の実施を主眼にしています。このプロジェクトでは、東北大学が培ってきた医工連携の組織体制や研究・教育における成果を結集し、企業等の研究者や技術者を対象に医療工学の体系的教育を提供してまいります。

医療を支える工学技術は日進月歩であり、今日の医療関連産業を担う技術者も新たな知識や技術の習得が求められています。また、医療工学などの新しい産業分野を切り拓くためには、医学あるいは工学などの従来の専門分野を超えた境界融合的な知識と視野をもつ研究者や上級技術者、医療従事者の育成が不可欠であると言えます。このような人材の育成のためには、医学、工学の両面における基礎づくりが出来る事が非常に重要な要素になります。しかしながら従来は、社会人を対象とした、基礎からの医工連携教育プログラムは十分に提供されてきませんでした。

東北大学では、これまでの研究・教育活動を通じて、そのような教育を行うのに十分な準備とバックアップ体制の整備がなされてきました。本プロジェクトでは、これまでの蓄積を最大限活用し、講義、実習、e-Learningで構成された社会人再教育カリキュラムを提供してまいります。

また本プロジェクトで実施したカリキュラムは、受講者の皆様や社会からの声を十分に反映し、将来的に、東北大学大学院医療工学研究科・社会人再教育コース(仮称)として発展させることを目指しています。カリキュラムの提供と共に、その実証を進めていく予定ですので、皆様方のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

■ カリキュラムの概要 ■

このカリキュラムは、従来、技術者にとって不可解であった医師・医学者の考え方の基本が実感として分かるようになることを目標として、構成されています。

このカリキュラムでは、講義、実習、e-Learningの3つの方法により、医療工学の基礎から体系的に学習する機会を提供します。講義では、基礎および臨床医学、医工学、そして社会医学の基本の考え方をわかりやすく解説します。次に、実感をもって医学・生物学を体験する実習を開講します。そして、e-Learningにより、知識と経験を確実にするための自己学習を支援します。

新しい技術・産業分野となる事が確実な医工連携に参入する障壁に悩んでいる技術者に受講を勧めます。手を動かして医学・生物学の考え方を学ぶことができるユニークな教育システムです。なお、講師は、東北大学医学部や工学部等の第一線の研究者や医師である、教授・助教授が担当します。

■ プロジェクトの目標 ■

このプロジェクトの目標は、カリキュラムを通じて医療工学の基礎を習得した人材を養成することにあります。平成16年度から平成20年度の5年間で、220名の人材の輩出を目指します。

医学と工学のダブルメジャー カリキュラムによる教育コース

